

自ら考え学び合い 心豊かにたくましく生きる児童の育成

子どもと共に

宮内小だより

No. 7

<http://www.hatsukaichi-edu.jp/miyauchi-e/>

令和 7年 9月22日
廿日市市立宮内小学校

実りの多い 2 学期に

暑い長い夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声が帰ってきました。2学期は、宿泊行事や運動会、校外学習など、たくさんの行事や取組を通して、日ごろの学習成果と子どもたちの成長を確かめられるときです。正に「実りの秋」ですね。ただ目の前のことをこなしていくのではなく、子どもたちが一つ一つ確かな「めあて」をもち主体的に取り組んでいけるように指導・支援していきます。ご家庭におかれましても、子どもたちの日々の様子に目を配り、声をかけていただけると幸いです。



例年、夏休みなど長期休業明けは、新たな不登校が起こりやすいと言われます。その原因が生活リズムの乱れなのか悩みを抱えているからなのか、保護者の方々と連携しながら対応していきたいと思えます。子どもたちの様子の変化やSOSを漏らさずキャッチできるよう、学校・ご家庭で一緒に努めていきましょう。どうぞよろしくお願いいたします。

平和について考える

～登校日の授業風景より～



8月26日(火)の登校日、各学級で平和について考える時間をもちました。各学年で指導の重点を考えて取り組んでいます。

第1学年	日常の学習や体験を通して、友達や生き物など、全ての命を大切に育てる。
第2学年	日常の学習をもとに、身の回りにいる人や生き物を大切に、平和を愛する心を育てる。
第3学年	さまざまな学習活動や身近な人の話や平和教材などで追体験させ、平和の尊さを感じ取らせる。

第4学年	戦争や原爆の悲惨さを、身近な人の話や平和教材などで追体験させ、平和の尊さと命の大切さを感じ取らせる。
第5学年	戦争と国民生活の関係について学ばせながら、戦争や原爆の悲惨さを理解させ、平和を大切にしようとする心情を育てる。
第6学年	戦争や原爆の非人間性や残虐性を学習の中から理解させるとともに、戦争の起きた原因を考えさせ、平和な日本と世界を築くため、地球環境を守るための実践的な態度を育てる。

学年の実態に応じて、戦争の非人間性や悲惨さ、平和の尊さや大切さについて考えました。真剣なまなざしで話を聴き、平和な世界が続くためにはどうすればいいのか、一人一人が思いを巡らせていました。



届け 平和の願い



運営委員会の呼びかけにより、平和の願いを込めて全校で折り鶴を折りました。その折り鶴は、9月5日(金)、総合的な学習の時間の校外学習で平和公園を訪れた4年生児童が、宮内小学校を代表して、平和記念公園内にある「原爆の子の像」に捧げました。平和のために今の自分にできることを考えて行動していきます。

